

|       |            |         |   |     |         |     |    |      |
|-------|------------|---------|---|-----|---------|-----|----|------|
| 科目名   | ヴォーカルVI    |         |   |     |         |     | 年度 | 2025 |
| 英語科目名 | Vocal VI   |         |   |     |         |     | 学期 | 後期   |
| 学科・学年 | 声優・演劇科 2年次 | 必／選     | 選 | 時間数 | 40      | 単位数 | 1  | 種別※  |
| 担当教員  | 池田ちほ       | 教員の実務経験 |   | 有   | 実務経験の職種 |     | 俳優 |      |

## 【科目の目的】

より多くのジャンルの曲を使って、グループでの歌唱とソロパートの歌唱を実践する。また、観客の前で歌うことを想定し、身体を使っての表現も行っていく。

## 【科目の概要】

様々な種のヴォーカルに取り組み、歌の世界観を理解し、歌唱力と表現力を高めることを目標とし、成果を発表する。

【到達目標】

ヴォーカルⅡで確実に声が成長し音域が変化してきたところで成果発表を経験する。そして、発表後の授業で一人ひとりが良かった点、悪かった点、練習と本番での相違点を振り返り理解し、自分の歌声を更に伸ばしていくにはどうしたらいいかを考え、工夫していくこと、声だけではなく歌の表現力を高めていくこと、どんなジャンルにも通用する柔らかい歌声を身につける。

## 【授業の注意点】

授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、連絡のない遅刻・欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。

評価基準=ループリック

| ループリック<br>評価 | レベル5<br>優れている             |  | レベル4<br>よい           |  | レベル3<br>ふつう           |
|--------------|---------------------------|--|----------------------|--|-----------------------|
| 到達目標<br>A    | 相手の目を見て挨拶する<br>ことができる     |  | 挨拶することができる           |  | 挨拶することができない           |
| 到達目標<br>B    | 課題内容を理解し演じる<br>(歌う) ことできる |  | 課題を演じる(歌う)こ<br>とができる |  | 課題を演じる(歌う)こ<br>とができない |
| 到達目標<br>C    | 遅刻・欠席をしない                 |  | 遅刻・欠席が少ない            |  | 遅刻・欠席が多い              |

【教科書】

必要に応じて楽譜・資料を配布する。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【參考資料】

## 【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかつた、D：まったくできなかつた

備考 等